



遠賀中間医師会

2025年3月26日発行

第24号

在宅総合支援センターだより

在宅医療・介護連携推進事業



令和7年2月15日(土)多職種研修会「講演、映画上映」を実施しました

日時 令和7年2月15日(土) 10:00~13:00

会場 遠賀町中央公民館 大ホール

内容

- ①講演「在宅医療 住みなれた場所で自分らしく」
遠賀中間医師会おかがき病院 院長 末廣 剛敏 氏
- ②映画「人生をしまう時間」
NHK BS1で放送され、日本医学ジャーナリスト協会賞大賞を受賞するなど大きな反響を呼んだドキュメンタリー番組を映画化

医療や介護を必要とする状態であっても、住み慣れた自宅や施設等なじみのある環境で安心して暮らし続けられるために、医療や介護、福祉サービス等の他、インフォーマルな地域の活動が一体的に提供されることが重要になります。そこで、地域住民の皆様に参加していただける多職種研修会を開催いたしました。

講師の遠賀中間医師会おかがき病院院長の末廣剛敏氏より、「在宅医療 住みなれた場所で自分らしく」をテーマに、在宅医療について病院医療との違いや人生会議の説明を含め分かりやすく伝えていただきました。

研修後のアンケートでは「残りの人生をどう生きていくか。家族と一緒に考える人生会議を進めたい。自分の考えと家族の考え方をお互いに理解していくことが大切だと理解できた」「リラックス出来る環境での最後がいかに価値のあるものかが理解できた」「改めて自分のこれからの人生について考えさせられた。難しい問題だけど精一杯これからのを過ごしていきたい」「家族に迷惑をかけないように死にたいと思うばかりだったが、そういうことでもないのかなと考え直した」等の意見や感想をいただきました。



令和6年12月19日(木)多職種研修会を開催しました

日時 令和6年12月19日(木) 19:00~20:30

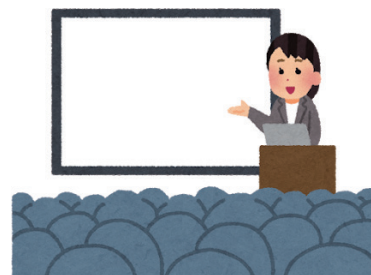
会場 遠賀中間医師会館2階 多目的ホール

内容

- 講演「褥瘡ケアについて～施設や自宅での褥瘡対策を考える～」
社会医療法人水光会宗像水光会総合病院
皮膚・排泄ケア認定看護師 田中 友紀 氏

褥瘡は局所要因だけでなく全身的・社会的要因も関わるため、個別対応ではなく連携して問題点と対応策の共有など行うことが重要になります。褥瘡ケアについての知識や技術向上により入院ではなく住み慣れた環境で長く暮らし続けられるよう、在宅における褥瘡ケアについて学ぶ多職種研修会を開催いたしました。

講義後のアンケートでは、「適切な方法がよくわかった」「体位交換できない方に除圧はしていたが、キャッチアップ後にも圧抜きが必要と初めて知った。他にも初めて知ることがあり大変勉強になった」「圧迫とズレ、時間が重なって褥瘡発生すること、クッションの正しい使い方などとても勉強になった」「在宅でもしっかり治療できることを学び、これからの介護に活かしていきたい」「今回学んだことで介護にも褥瘡の予防、ケアは重要だと改めて気付くことができた」等のご感想をいただいています。





中間市消防本部の概要



中間市消防本部は、中間市を管轄地域として中間市消防本部、中間市消防署の1本部1署で構成されています。ちなみに、消防本部と消防署は同じ建物になります。

救急隊は、高規格救急車3台で救急活動を行っており、1年間の走行距離は3台あわせて48,145kmとなり、その距離はなんと地球1.2周分に相当します。

職員数は、56名(令和6年4月1日時点)で、令和6年度には中間市消防本部初の女性消防士が誕生しました。



中間市の救急概要等

右の図(図1)は平成12年から令和5年の中間市の人口の推移です。中間市の総人口は右肩下がり減少しています。65歳以上の高齢者については、右肩上がり増加していましたが、令和2年をピークに減少傾向となっています。高齢化率は、令和5年10月1日の時点で38.1%となっており、高水準を推移しています。また、高齢者に占める後期高齢者(75歳以上)の割合は増加傾向となっています。

次の図(図2)は、過去10年間の中間市における人口の推移と救急出動件数の推移です。先に述べたとおり、中間市の総人口は右肩下がり減少しているのに、救急件数は増加傾向にあります。

なぜ人口は減少しているのに、救急出場件数は増加しているのでしょうか?調べてみましょう!



図1

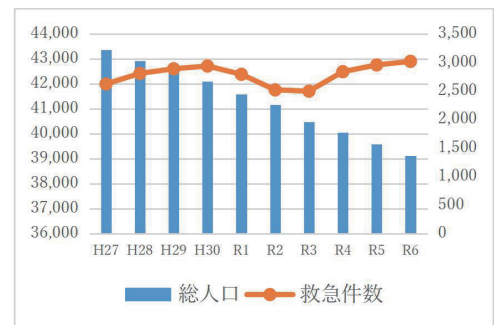


図2



高齢者の救急搬送



右の図(図3)はその年における救急搬送患者状況を年齢別に割合で表したものです。

この図で成人(65歳未満)の割合は小さくなっているのに対し、高齢者(65歳以上)の割合が大きくなっていることが分かります。

結果、救急出動件数の増加は、高齢者人口の増加が1つの要因と言えますね。対策はないのでしょうか?考えて見ましょう!

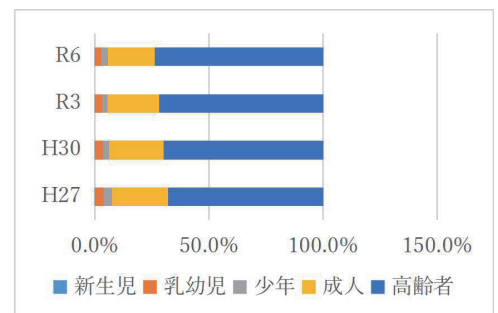


図3



高齢者の救急搬送種別

右の図(図4)は、中間市で令和6年中に救急搬送された高齢者について、内容別に割合を表したものです。急病と一般負傷で約9割を占めており、持病の悪化や免疫力低下など防ぐことが難しいところですが、2番目に多い一般負傷については、対策ができるのではないのでしょうか?通報内容は、このような内容が多くあります。

「家の段差につまずいて転倒した、、」

「夜中にトイレに行こうとして転倒した、、」

このような事態にならないためには、家の中の段差をなくすバリアフリー工事をしたり、よく通る通路に手すりを取り付けたりすることで、予防することができます。また、人の動きを感知して点灯する照明を取り付けることで、夜中の転倒リスクを抑えることが期待されます。転倒に伴う骨折による入院などで、予後の生活が大きく変わることがありますので、事前に対策をして、元気で健やかな生活を送りましょう!

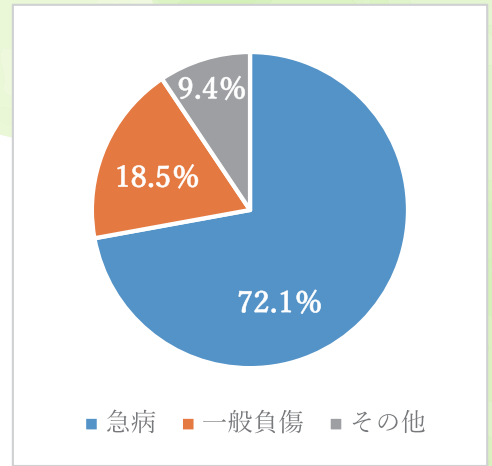


図 4



マイナ救急の実証実験が始まります!



マイナ救急とは、救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、病院選定等に必要な情報を把握することにより、救急業務の円滑化を図る取り組みです。令和7年度中に準備が整った消防本部から順次、実証実験が開始される予定です。

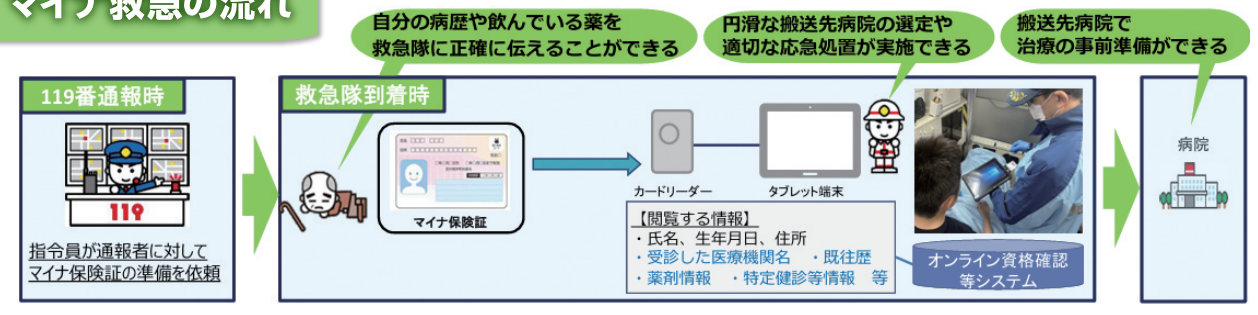
マイナ救急による効果は、①高齢者や情報取得が困難になる可能性がある傷病者の医療情報取得が容易となり、現場滞在時間や病院選定時間の短縮につながる、②痛みや苦しみがある傷病者が、救急隊員に説明する負担の軽減につながる事が挙げられます。

マイナ救急を行うためには、、、

- ・マイナンバーカードの取得と保険証利用登録が必要です。
- ・マイナンバーカードの携行をお願いします。



マイナ救急の流れ



令和7年度研修会計画

詳細は、在宅総合支援センターまでお問い合わせください。

◎出前講座

地域住民の皆様へ在宅医療に関する情報の普及啓発を図ることを目的に実施しています。地域の公民館等にお伺いして講話をさせていただきます。(事前申し込み制) 詳細は、在宅総合支援センターまでお問い合わせください。

◎医療介護関係者研修

多職種連携研修会、多職種研修会、同行訪問研修、施設看取り出前講座などを実施予定です。



メディカルケアステーション(MCS)

医療・介護従事者のためのコミュニケーション・情報共有ツール

MCSは医療介護専用の完全非公開型SNSで、多職種連携のためのコミュニケーション、情報共有ツールです。必要な情報を関係者間で共有することができます。

遠賀中間地域連携コミュニティ

遠賀中間地域の医療機関・介護サービス事業所等を対象として、MCSの自由グループを作成しています。コミュニティに参加してつながりに登録すると患者グループへの招待や参加がスムーズに行えます。また、参加者(多職種)間の交流の場としています。詳細は、在宅総合支援センターまでお問い合わせください。



遠賀中間地域在宅医療・介護資源マップ

遠賀中間地域在宅医療・介護資源マップをホームページ“つなぐ在宅ネットおながなかま”に掲載しています。

遠賀中間地域の医療機関や介護サービス事業所を、カテゴリー(種別)やエリア、名称等から検索して閲覧することができます。在宅総合支援センターのホームページから、どなたでもアクセスできます。ぜひお気軽にご利用ください。



在宅医療に関する医療機器整備(無料貸出)

当センターでは、在宅医療に使用する医療機器、研修用シミュレータを医療機関及びサービス事業所に無料貸し出しを行っています。借用の手続きや貸出物品などの詳細は在宅総合支援センターのホームページをご覧ください。

- <医療機器貸出物品> ○ポータブル吸引器
○ポータブル吸入・吸引両用器 ○ネブライザー ○点滴スタンド
○自然落下式輸液ポンプ ○PCAポンプ ○カフティポンプ
○カフ圧計 ○血液ガス分析器(携帯用) ○もの忘れ相談プログラムなど



PCAポンプ



血液ガス分析器
(ガスタットナビ)

在宅医療に関する相談窓口について

在宅総合支援センターには在宅医療に関する相談窓口があります。遠賀中間地域1市4町の地域包括支援センター等と連携してご対応させていただきます。

専門のスタッフがおりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

在宅医療相談窓口

受付時間 月～金曜日
9時～16時

電話 093-281-3100

FAX 093-281-3105



発行 遠賀中間医師会 在宅総合支援センター

〒811-4342 遠賀郡遠賀町大字尾崎1725番地2
TEL 093-281-3100 FAX 093-281-3105
URL : <http://www.onnaka-med.or.jp/zaitaku/>